

科目名	法律事例研究 I	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			法律学科 ■必修 □選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Legal Cases Study I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	さとうひろとし・たかはしゆうすけ・あきやまえいいち	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	佐藤寛稔・高橋佑輔・秋山栄一	修得単位	2単位
授業のテーマ	さまざまな事件の事例を用いて法律学の基礎、法律の使い方を学びます。		
到達目標	さまざま事例に応じて妥当な法解釈ができる。		
授業概要	法律学は単にそれぞれの法律の条文を暗記するものではなく、実際に起こった問題を適切に解決するための妥当な解釈はどのようなものかを考える学問です。この科目ではさまざまな事例を通じて法的に社会を見つめる目と法的に物事を考える思考力を養います。		
授業計画			
第1回	憲法1 憲法とはどんなルールか 平等原則① 「分離」すれども平等という考え方は妥当か		
第2回	憲法2 平等原則② 尊属殺人重罰規定の合憲性		
第3回	憲法3 平等原則③ 結婚していないカップルの子供の取扱		
第4回	憲法4 平等原則④ 男女の違い 夫婦同氏 女性の再婚禁止期間		
第5回	憲法5 平等原則⑤ これからの課題 同性カップル ヘイトスピーチ		
第6回	民法1 意思表示と法律行		
第7回	民法2 代理制度と表見代理		
第8回	民法3 民法上の時効制度		
第9回	民法4 不動産物権変動と登記		
第10回	民法5 抵当権の性質		
第11回	刑法1 刑事法とはどのような分野か?その概要について		
第12回	刑法2 刑法とはどのような法律か?その概要と罪刑法定主義		
第13回	刑法3 罪刑法定主義① 類推解釈禁止の原則など		
第14回	刑法4 罪刑法定主義② 遡及処罰の禁止の原則など		
第15回	刑法5 罪刑法定主義③ その他、まとめ		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	1. シラバスを見て、授業前に関係する資料に目を通してください。(1.5時間程度) 2. 講義で渡されたプリント等の復習をしっかりと行ってください。特に基本概念はしっかりと理解できるまで繰り返し勉強してください。(2時間程度)		
履修条件 受講のルール	法律学科1年生必修科目です。法律学とともに大学での勉強の仕方についても学ぶ科目です。しっかりと話を聞き、ノートを取り、発言を求められたときには受け答えできるようにしてください。		
テキスト	六法は必ず持参してください。		
参考文献・資料	それぞれの分野の担当教員より適宜指示します。		
成績評価の方法	期末試験 70% 小テスト 30%		
オフィスアワー	佐藤 月曜日 10:40~12:10、火曜日 10:40~12:10 高橋 月曜日 13:00~14:00、木曜日 13:00~14:30 秋山 火曜日 9:00~10:30、水曜日 14:40~16:10		

<p>成績評価基準</p>	<p>平成28年度（2016年）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015年）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) *出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受ける ことができません。</p>
<p>学生への メッセージ</p>	<p>入学後初めて学ぶ法律学の科目です。分からないところが出たら遠慮なく質問しよう。</p>